

第 338 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 30 年 2 月 6 日 (火) 11:45～12:50
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] Flight2530
[放送日時] 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 25:30～26:00
[出演者] 小杉 涼花
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 小野晃司 委員 山本りさ 委員 服部乃利子
委員 高木邦子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 今期営業成績予測の件
- ラジコプレミアム聴取状況の件

6. 番組審議

- [対象番組] Flight2530
- [放送日時] 平成 30 年 2 月 3 日 (土) 25:30～26:00
- [出演者] 小杉 涼花
- [番組内容] 毎週この時間に飛び立つ限定機。小杉涼花が深夜のフライトを、彼女の視点でお供します。

[聴取・合評での主な意見]

角田副委員長

聴き易い喋りで、若々しさもある。しかし夜の番組にしてはトークスピードが早く、助詞の使い方など日本語のブラッシュアップの必要がある。内容については、彼女自身の旅のエピソードがききたい。例えば、いつ行って、何を食べたのか、など。実感が伝わる、臨場感のある喋りが聴きたい。新人らしい、若々しい喋りや選曲にチャレンジして欲しい。無難にまとめすぎている印象だ。

- 高木委員 ハキハキした喋りで聴き易いが、トーンが高くで落ち着きがない。リスナーメッセージの紹介と彼女自身のコメントの境が分からない。また、コメントには描写力が欲しい。旅先の風景が浮かばず、具体的にどんな都市に行ったのかが分からなかった。まだトークが上滑りしているが、彼女の存在感は若々しくて好感が持てる。
- 山本委員 明るく爽やかで聴き易い。今後が楽しみだ。早朝や昼間にはフィットする声質だ。メッセージをもらったリスナーへの返しは少なく、弱い。お祭コーナーのBGMは、内容に沿った選曲が良いのではないか。
- 服部委員 若々しく、かわいらしい声。始まったばかりの番組のせい、特に前半は緊張が伝わり、一部聴きづらい部分もあった。全体的に、BGMはアジア風にした方が、どこに旅しているのかが伝わったと思う。
- 小野委員 新人という事で明るく聴き易いが、深夜にしては明るすぎる。彼女の、旅好きな部分がもう少し伝わる工夫が必要だ。まるでガイドブックを読んでいるような表面的な情報が目立つ。リスナーが行ってみたいと思わせる表現が肝要。企画書にある「豆知識」「旅のヒント」が出ていないと感じる。今後に期待。
- 木宮委員長 各委員とも、喋りについては概ね高評価だが発声やアクセント、トーン、テンポなどは課題がある。番組構成については、せっかく自分の企画が通ったのだから、自らの色をもっと出すべき。何を伝えたいのかをもっと掘り下げた方が良い。現状では、番組が平べったく、奥行きがない。来週の予告をもっと具体的に行うと、メッセージの呼び水になるのではないかとはいえ、4月以降が楽しみな人材だ。
- 会社サイド 前回(第337回)では地元出身者の番組編成について評価を頂いた一方、トーク内容や、彼女の立ち位置などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成30年3月6日(火) 11:50~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信